



Brunnstrom stage(ブルンストロームステージ)

ス テ ー ジ	I	随意運動が見られない
	II	連合運動が出現する
	III	共同運動が出現する
	IV	分離運動が一部出現する
	V	分離運動が充分可能となる
	VI	運動の協調性、スピードが回復する

呼吸音/副雑音

音の性質	副雑音	状態	疑われる疾患
チリチリ パリパリ	ファイン・クラックル	線維化した肺胞が膨らむとき	間質性肺炎 心不全
ポコポコ ブクブク	コース・クラックル	気道分泌物が呼吸によってはじけたとき	肺水腫 肺炎 ARDS
グーグー ウーウー	ロンカイ (いびき音)	狭窄した太い気管や気管支に空気が通るとき	慢性気管支炎
ヒューヒュー ピーピー	ウィーズ (笛音)	狭窄した細い気管支に空気が通るとき	気管支喘息発作 肺気腫
ギュギュ	胸膜摩擦音	炎症した胸膜表面がこすれたとき	胸膜炎

ナースの面談室 <https://dialogue-room.site/>

SAMPLE

Japan Coma Scale (JCS)

I 刺激をしないで覚醒している状態	
1	意識清明とは言えない
2	見当識障害がある
3	自分の名前・生年月日が言えない
II 刺激をすると覚醒する状態	
10	普通の呼びかけで容易に開眼する
20	大きな声または揺さぶることにより開眼する
30	痛み刺激を加えつつ呼びかけを繰り返すとかろうじて開眼する
III 刺激をしても覚醒しない状態	
100	痛み刺激に対し払いのけるような動作をする
200	痛み刺激に対し手足を動かしたり顔をしかめる
300	痛み刺激に全く反応しない

ナースの面談室 <https://dialogue-room.site/>

SAMPLE

改訂水飲みテスト(MWST)

方法	●冷水3mlを口腔前庭に注ぎ、嚥下を命じる。 ●嚥下後反復嚥下を2回行わせる。
評価	
1点	嚥下なし、むせるand/or呼吸切迫
2点	嚥下あり、呼吸切迫 (Silent Aspiration: 不顕性誤嚥の疑い)
3点	嚥下あり、呼吸良好、むせるand/or湿性嘔声
4点	嚥下あり、呼吸良好、むせない
5点	「4」に加え、反復嚥下が30秒以内に2回可能
	●評価基準が「4点」以上なら最大2施行繰り返し、最も悪い場合を評点とする。



ポイント

- 嚥下後に起こった湿性嘔声判別のために、本テスト施行前に普段の声を確認しておく。
- 嚥下後に湿性嘔声を認めたら、喉頭侵入や誤嚥を疑う。

ナースの面談室 <https://dialogue-room.site/>

SAMPLE

脳卒中ボケカ

BASE <https://BCNs.thebase.in>

この用紙は試供版です
製品版はこちら→

カードのつくりかた

- ①両面印刷する
- ②切り取る
- ③ラミネートする

切り取るとカードになります

Brunnstrom stage(ブルンストロームステージ)

ステージ	上肢(肩・肘)	体幹・下肢	手指
I	弛緩性麻痺(随意運動なし)	弛緩性麻痺(随意運動なし)	弛緩性麻痺(随意運動なし)
II	上肢筋の連合反応 わずかな随意収縮	下肢筋の連合反応 わずかな随意収縮	自動的手指屈曲がわずかに可能
III	屈筋共同運動 伸筋共同運動	屈筋共同運動 伸筋共同運動	全指同時握り、鉤形握り可能だが離すことが出来ない 随意的な手指伸展不能 反射による伸展は可能
IV	腰の後ろに手を回す 前方水平に腕を挙上 肘90°屈曲位で回内・回外運動	座位で膝を90°以上屈曲し足部を床の後方に滑らす 座位で踵を床から離さず随意的に足背屈	横つまみと母指を動かして離すことは可能 半随意的な手指伸展は小範囲で可能
V	肘伸展位で腕を側方水平位に挙上 前方頭上に腕を挙上 腕を前方または側方へ挙上 肘伸展位での前腕回内・回外運動	立位、股関節伸展位で膝屈曲 立位、膝伸展位で足を少し前方に踏み出して足背屈	対向つまみ、筒握り、球握りはだいたいできる 動きは不器用、機能的な使用は制限 随意的な手指伸展可能だが、その範囲は一定しない
VI	Vの運動を速やかに行うことができる ほぼ正常に近い状態	立位で股外転が骨盤挙上による範囲を超えて可能 座位で内外側屈筋群の交互運動による下腿の内外旋が足の内外反を伴って可能	すべての種類の握りが可能になり、巧緻性も改善し全可動域伸展可能 個別の手指運動が健側に比して正確さは劣るが可能

ナースの面談室 <https://dialogue-room.site/>

SAMPLE



脳卒中ボケ力

<https://BCNs.thebase.in>



Richmond Agitation-Sedation Scale (RASS)

スコア	状態	症状	
+4	好戦的な	明らかに好戦的な、暴力的な、医療スタッフに対して直接的に危険な状態	
+3	非常に興奮した	チューブ類やカテーテル類の自己抜去 攻撃性あり	
+2	興奮状態	頻繁に意図的でない体動あり 人工呼吸ファイティングあり	
+1	落ち着きない	不安で絶えずそわそわしている しかし動きは攻撃的でも活発でもない	
+0	意識清明 落ち着きあり		
-1	傾眠状態	完全に覚醒はしていないが、呼びかけに10秒以上開眼及び視線を合わせる	呼びかけ
-2	浅い鎮静状態	呼びかけにより短時間覚醒する 10秒未満開眼及び視線を合わせる	刺激
-3	中等度の鎮静状態	呼びかけにより動作反応または開眼 ただし視線を合わせることはできない	刺激
-4	深い鎮静状態	呼びかけに反応しないが身体刺激により動作反応または開眼する	身体
-5	非覚醒状態	呼びかけまたは身体刺激による反応なし	刺激

ナースの面談室 <https://dialogue-room.site/>

SAMPLE

この用紙は試供版です
製品版はこちら→

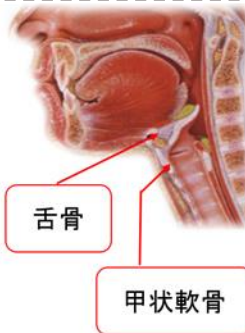
反復唾液のみテスト(RSST)

方法

- 人差し指で舌骨を、中指で甲状軟骨を触知した状態で空(から)嚥下を指示する。
- 30秒間で何回嚥下できるか観察する。
- 甲状軟骨が指を十分に乗り越えた場合のみ、1回とカウントする。

評価

- 随意的な嚥下の繰り返し能力をみるもので、嚥下障害患者では嚥下の繰り返し間隔が延長すると報告される。
- 30秒以内に3回できなければ「問題あり」と判定。



切り取るとカードになります

カードのつくりかた

- ①両面印刷する
- ②切り取る
- ③ラミネートする

ナースの面談室 <https://dialogue-room.site/>

SAMPLE